

未来ビークルシティリサーチセンター

第23回シンポジウム

「冷凍空調技術と超音波利用技術の最前線」

日時：2020年1月30日 13:30～16:00

場所：豊橋技術科学大学 A棟114

持続可能な社会の創造において、「エネルギー」と「地球環境」が重要なキーワードであり、特に、エネルギー資源に乏しい日本にとっては、エネルギーの確保やそれらを効率的に用いる省エネルギー技術などの研究開発が必要不可欠であるといえます。また、冷凍空調分野においては、低環境負荷である次世代冷媒の利用など時々刻々と技術革新が行われています。

本シンポジウムでは、冷凍空調と超音波利用に焦点を当て、エネルギー利用技術開発の最前線で活躍されている方々にご講演いただきました。仕組みや応用例、解析事例、共同研究事例、次世代冷媒についてなど、この分野の現状と将来について議論いたしました。

本シンポジウムには62名（学外17名、学内45名）の参加があり、本会は盛況のうちに終了しました。

【講演1】

「ヒートポンプのシミュレーション技術とその活用」

早稲田大学 オープンイノベーション戦略機構 数理エネルギー変換工学研究所
所長 齋藤 潔 氏

【講演2】

「地球環境への影響の小さい次世代冷媒及び冷凍空調機の開発」

佐賀大学 理工学部 教授 宮良 明男 氏

【講演3】

「エジェクタ冷凍サイクルの開発について」

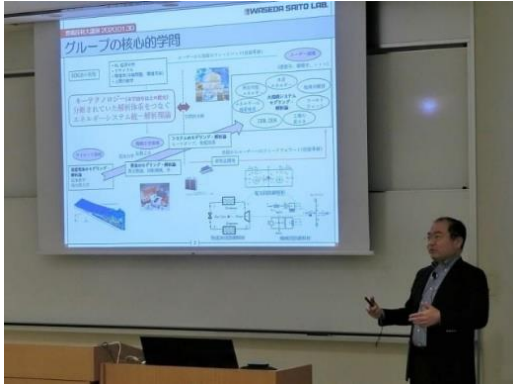
豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター 特定教授 中川 勝文

【講演4】

「液中プラズマによる燃料ガスと材料合成」

愛媛大学 大学院理工学研究科 生産環境工学専攻 教授 野村 信福 氏

講演の様子



【講演 1】



【講演 2】



【講演 3】



【講演 4】



↑会場受付付近にセンター紹介ポスターを展示しました。↑